

# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
1	17分	瀬長 美佐雄(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 米軍基地問題について</p> <p>(1) 辺野古新基地建設に反対するそもその理由を問う。</p> <p>(2) 辺野古新基地建設を止めるために 埋立工事の強行は、地方自治権の侵害、技術的にも完成しない無理な計画である。新基地の事業費・内訳、完成までの期間や事業費総額を明確にさせ、財政的にも破綻した愚かな計画だと国内外に発信し、共有する必要がある。その取組状況、今後の計画を問う。</p> <p>(3) 普天間基地の閉鎖撤去実現へ 早期実現を求める県民の願いに背を向け、普天間基地の整備費を日本政府が負担するなど、基地の固定化、永続化を進めているのではないか。見解を問う。米軍への思いやり予算の投入に反対すべきではないか。この間の日本の負担額、内容を問う。</p> <p>(4) 米軍関係者による性暴力犯罪・被害根絶へ公安委員会が持つ権能、警察の管理の発揮を ア 米軍関係の凶悪犯罪の状況を問う。 イ 公務外、基地外での米軍の犯罪容疑者を身柄拘束しない警察に対し県民は疑念を持ち問題視している。現行の不平等な地位協定に照らしても問題である。警察を管理する公安委員会の役割と対応も問われている。見解を問う。</p> <p>2 軍事力増強政策に反対し、沖縄を戦場にさせないために地域外交計画の推進を</p> <p>(1) 沖縄振興予算を減額する一方、安保関連3法による軍事力増強が進み、沖縄の戦場化へ県民は不安を高めている。軍事費と振興予算の推移について問う。また、軍事力増強政策に反対すべき。見解を問う。</p> <p>(2) 地域外交基本計画に基づく取組状況、国連機関やJICA等との連携と成果及び北東アジア地域自治体連合(NEAR)に参画する意義と展望を問う。</p> <p>3 南米訪問(ブラジル、ボリビア、ペルー県人会交流等)を生かすために</p> <p>(1) 南米県系社会との交流及び経済連携事業の発展が求められている。今回の訪問の成果を問う。</p> <p>(2) 沖縄県人会及び経済連携強化のために南米沖縄事務所を設置すべきと思うがどうか。</p> <p>4 与那国町の自立ビジョン支援で諸課題を解決し平和な島へ</p> <p>(1) 自衛隊配備前と現在との比較について、人口や第1次産業、介護事業等の現状を問う。</p> <p>(2) 与那国町自立ビジョンと県地域外交計画を一体的に進め、ミサイル配備や特定新港計画への町民の不安を解消し、県の祖納港の整備促進で定住条件・民生安定に資するように県と町の連携が期待される。対応を問う。</p> <p>5 農林水産業の振興、農家支援の強化について</p> <p>(1) 農業分野の一括交付金削減の影響が深刻である。その影響を踏まえた物価高騰対策での農漁業者支援、畜産農家への支援強化が求められる。農漁業者の窮状と支援状況を問う。</p> <p>(2) 国へ価格・所得補償の制度化を求め、農家の継続経営の支援強化をすべきと思うがどうか。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	玉城 健一郎(ていだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 認知症について</p> <p>(1) 認知機能の低下による高齢者の道迷いの現状を伺う。</p> <p>(2) 高齢者の道迷いの対策について県の見解を伺う。</p> <p>2 観光産業について</p> <p>(1) 沖縄の観光業の現状と課題を伺う。</p> <p>(2) 県内の土曜日や日曜日に働いている就業者の割合を伺う。</p> <p>(3) 県内の観光業従事者の割合を伺う。</p> <p>(4) 観光の平準化に向けた取組について伺う。</p> <p>(5) 愛知県では2023年度からワーク・ライフ・バランスの観点から子どもの学び(ラーニング)と保護者の休暇(バケーション)を組み合わせたラーケーションが導入された。県内でも座間味村が導入しているが、ラーケーション導入について県、県教委の考えを伺う。</p> <p>3 PFASへの対応について</p> <p>(1) 県内の検出状況を伺う。</p> <p>(2) 米軍基地内での対応について伺う。</p> <p>(3) 土壌調査の結果について伺う。</p> <p>4 道路行政について</p> <p>(1) 国道330号と宜野湾11号線交差点の改良について伺う。</p> <p>(2) 国道330号中部商業高校前の交差点の改良について伺う。</p> <p>(3) 県道34号線真栄原一大謝名間の渋滞緩和策について伺う。</p> <p>5 パートナーシップ制度の導入について 検討状況と今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>6 鉄軌道導入について</p> <p>(1) 現在の検討状況について伺う。</p> <p>(2) 鉄軌道が導入されることによる県経済への影響を伺う。</p> <p>7 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	新垣 光栄(おきなわ新風)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 国連関係者の招聘と訪米行動の成果と課題について、知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 石破茂総裁が総裁選で掲げた「日米地位協定の改定」と「合意議事録」について伺う。</p> <p>(3) 観光目的税(宿泊税)の課税方式を定率制とする方向性の決定について、見解を伺う。</p> <p>(4) 世界のウチナーンチュネットワークの強化と人材育成及び「南米沖縄会館」、「オキナワ道路」の早期整備について、知事の見解を伺う。</p> <p>(5) 入札不調となった大型MICE施設整備と社会資本整備を含む県経済の展望について伺う。</p> <p>2 県土のグランドデザインと中南部都市圏の形成について</p> <p>県土は、県民の限られた資源であり、豊かで人間的な生活を営むための基盤である。私たちは、その県土の保全と適切な利用に努め、次世代に引き継いでいかなければならない。また、私は社会の転換期において、社会的共通資本を形成・維持するために、県土の公共性の認識が大きな役割を果たすと考えています。</p> <p>(1) 県土の均衡ある発展を支える東海岸サンライズベルト構想の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 経済界が提案している「ゲートウェイ2050プロジェクト」について、県の見解を伺う。</p> <p>(3) 令和9年中間見直し予定の沖縄振興計画の改定について、県の取組状況と課題を伺う。</p> <p>3 教育行政について</p> <p>沖縄県の学校現場が抱える課題は、社会の急激な変化に伴い多岐に及び、今、教育現場は複雑かつ多様な社会の要請などに対応することが求められ、将来への展望が問われている。しかし、小泉政権下で推進された三位一体の改革で、義務教育費国庫負担率が3分の1へ引き下げられ、日本の公教育が崩壊しつつある。</p> <p>(1) 学校給食費の無料化と地産地消について、取組状況、課題と県の見解を伺う。</p> <p>(2) 県内における少年非行の実態とスクールサポーターの運用、配置について現状を伺う。</p> <p>(3) 離島における職員住宅の確保について、現状と課題を伺う。</p> <p>4 土木建築・公共交通行政について</p> <p>建設業の人手不足や高齢化が問題視される一方で、建設需要は拡大、投資額は右肩上がりとなり、建設業界、自治体では管理技術者の人手不足という深刻な課題を抱えています。</p> <p>(1) 建築設計、建設コンサルタント・磁気探査業務に関する最低制限価格の見直しについて、知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 建設業界の技術者育成と自治体技術職員の育成、採用について、現状と課題を伺う。</p> <p>(3) バスとモノレールのシームレス化及びMaaS(サブスク等)について、進捗状況と課題を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	喜友名 智子(おきなわ新風)	知事 関係部長等
質問要旨			

## 1 沖縄振興について

(1) 沖縄振興計画では初の規定となる5年以内の中間見直しが2年後に迫っている。

ア 県と内閣府の中間見直しの作業は、どのように取り組んでいるのか。

イ 中間見直しのポイントは何が大事だと県は考えているか。

(2) 公共交通の構築について

今年初めには沖縄バスが東陽バスを子会社化するなどバス会社再編の動きがあった。県外では、岡山市が約30億円かけて9社のバス会社の路線再編計画に取り組んだ例がある。沖縄県もバス再編や運行を公費で支えなくてはバス路線の維持は難しいのではないか。見解を伺う。

## 2 南西諸島の軍事力強化について

(1) 10月23日から11月1日まで日米共同統合演習「キーン・ソード」が行われる予定である。特に石垣島にはHIMARS(ハイマース、海兵隊の高機動ロケット砲システム)が初めて展開されるという。HIMARSは米国がウクライナに供与したことで知られている。このような兵器が石垣島に展開される意味を県はどう考えるか。

(2) 9月26日に行われた国民保護法に基づく「武力攻撃予測事態」の発出を想定した住民避難の手順確認の訓練について、内容を伺う。

## 3 病院事業局について

8月から稼働した新たな勤務管理システムのエラーによる手当など未払いの内容、今後の対応を伺う。

## 4 福祉・教育行政について

(1) 若夏学院について

ア 若夏学院の役割を伺う。

イ 職員の構成について伺う。

(2) 離島の保育環境について

ア 沖縄県内の離島の待機児童数と保育園数を伺う。

イ 保育園数のうち、公営と民間運営の園数を伺う。

(3) 教職員の働き方について

ア 県教委が採用する会計年度任用職員の待遇について伺う。

イ 総務省の「会計年度任用職員制度の導入に向けた事務処理マニュアル」では、準備時間などの時間を含めて「実態を踏まえた上で勤務時間として設定する必要がある」としている。県の見解を伺う。

## 5 文化芸術振興について

(1) 沖縄県文化芸術振興条例では、県民にとっての文化芸術をどのように位置づけているか。

(2) 県文化振興計画で取り組む文化芸術支援とは何か。

(3) 沖縄アーツカウンシルの実績について伺う。

(4) 文化芸術行政の専門家配置の必要性について伺う。

## 6 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
5	17分	西銘 純恵(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等

## 質問要旨

- 知事訪米の成果について、ワシントン事務所の果たした役割と米国内の評価、今後の体制強化について伺う。
- 学校給食の無償化は本来国が行うべきであり、国への無償化を求めつつ、県が中学校の給食無償化に向けて取り組んでいる進捗状況と私立学校への取組を伺う。
- 教育行政について
  - 小中、県立学校の教員未配置は当初と比べてどうなっているか。年度途中で教員不足が悪化していくのを解決するためにも、教員定数を正規雇用にして増やしていくべきではないか。
  - 県立学校の正規教員と定数内臨時教員の人数と割合は全国に比べてどうか。正規雇用率を改善するための計画を策定すべき。
  - 特別支援学校の特支免許の保有率は全国と比べてどうか、保有率を高めるための対策はどうか。
  - 小中、県立学校の教員の早期退職者は5年前と比べて年代別に見てどうなっているか。原因を分析しているのか。
  - 高校の非常勤講師の給与の仕組みを伺う。授業準備やテストの作問や採点など多岐にわたる勤務時間外の業務量が非常に多いとの訴えがある。4時間授業に1時間加算するなどの改善策を求めているが対応を伺う。
  - 全国で不登校が増え続けているが、10年前と比べて全国と沖縄県の状況はどうなっているか。不登校の対策を伺う。
- 浦添新軍港建設について
  - 民港の発展を目標とする那覇港湾区域に、日本の法律の及ばない治外法権の米軍浦添新軍港を建設させるのはなぜなのか。自然破壊、税金の無駄遣いの機能が強化された米海兵隊の出撃基地となる浦添新軍港建設は中止すべき。
  - 環境アセス配慮書への知事意見の内容を伺う。知事意見で「埋立面積を最小限に抑える必要がある」と述べているが、その理由を伺う。
  - 環境アセスの配慮書に出された国土交通大臣の意見について、知事の見解を伺う。
  - 県が沖縄防衛局に出した10項目の質問事項と、その回答内容、県の対応について
- 認知症対策について
  - 2023年に警察に届出のあった認知症や疑いのある行方不明者は、全国で延べ1万9039人と11年前の2倍近くに増えていると報道されている。県内の実態を伺う。
  - 認知症や軽度認知障害の実態調査を行うこと。基本計画の内容と現状を伺う。
- 好評だった県の「わった〜バス利用促進乗車体験事業」の効果を伺う。高齢者のバス・モノレールの無料、または割引敬老パスの創設を急ぐことについて
- 昨年の中熱症による救急搬送者と死亡者は全国に比べてどうか。生活保護世帯や非課税世帯にクーラー設置の補助を行うことについて
- 県立中部病院の南病棟は耐震基準を満たしていないことが10年前の耐震診断で判明している。一刻も早く建て替えなければならない。現地での建て替えを急ぐべきであり進捗を伺う。
- 県が次年度導入を予定している性的少数者のパートナーシップ制度の検討内容と進捗を伺う。
- 市町村と協力して、逼迫している火葬場を増設し、当面、県民に負担が重くのしかかっている安置料の一部を補助することについて



# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	仲宗根 悟(おきなわ新風)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事の訪米は、普天間飛行場の辺野古移設や嘉手納飛行場の負担増等、基地問題をはじめとして、相次ぐ米軍人による性的暴行事件やPFOS問題を直に米国議会、米政府や国連で訴え、シンポジウムでの基調講演、共和党系のシンクタンクでの講演等、訪米活動がこれまでにない成果を得たと感じる。ワシントン駐在のこれまでの積み重ねの成果である。知事の所見を伺う。</p> <p>(2) 国連関係者の招聘について伺う。</p> <p>2 米軍基地問題について</p> <p>(1) 県は、米軍嘉手納基地及び普天間飛行場周辺の航空機騒音について、2023年度の測定結果を公表したとするがどのような状況か。また、夜間・早朝の飛行を制限する航空機騒音規制措置の状況はどうか。</p> <p>(2) 米軍施設の一部返還や共同使用等が遅々として進まず河川整備等、県民生活に重要な公共工事の進捗が滞る事態が生じているが県の対応を伺う。</p> <p>(3) 米軍関係の兵士や軍属の飲酒運転による逮捕の報道記事の頻繁さは異常なほどである。飲酒運転根絶に向けての取組はどのような状況か伺う。</p> <p>3 農林水産業の振興について</p> <p>(1) ゆがふ製糖具志川工場機械設備、冷却用海水の取水のための新港地区側水路及び取水口周辺における土砂のしゅんせつに関する県の対応を伺う。</p> <p>(2) 台風や干ばつなど気象災害に強い甘蔗は、沖縄県における重要な畑作物である。特に紅芋は加工土産品として人気が高く、インバウンド消費の拡大にも貢献している。ところが2018年頃からサツマイモ基腐病が発生し、加工原料の紅芋が大きな被害を受けた。基腐病のこれまでの対策と新品種の改良に向けての取組を伺う。</p> <p>4 離島振興について</p> <p>(1) 与那国町祖納港の改修工事の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 特定重要拠点港湾建設が計画されている与那国町の琉球列島最大規模の湿地帯の樽舞湿原は、環境省の生物多様性の重要度の高い湿地500に登録され、鳥獣保護区に指定されていることなど、希少な野生動植物が数多く生息している。早急な生物調査を進めるべきである。県の見解を伺う。</p> <p>5 教育行政について</p> <p>(1) 学校給食費無償化に向けた取組について伺う。</p> <p>(2) 教職員の働き方改革として、教職員定数法にとられない増員や非常勤講師の増員が現場の要求である。その取組について伺う。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
7	17分	幸喜 愛(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等

## 質問要旨

- 1 予防接種と健康被害との因果関係が認められた方を救済する予防接種健康被害救済制度について伺う
  - (1) 健康被害救済制度の窓口はどこか。その周知は十分なのか県の見解を伺う。
  - (2) 沖縄県における新型コロナワクチン接種に係る副反応疑いの状況について
    - ア 副反応の定義や基準はあるのか。また副反応の認定を行う機関はどこか伺う。
    - イ 認定されている副反応の事例などの情報開示について伺う。
    - ウ 県内における新型コロナワクチン接種による健康被害申請の件数、そのうち重篤と認められた件数とその症状について伺う。
    - エ 事実上、国から接種を義務づけられた医療従事者や介護従事者の中で、副反応疑いのある方への労災認定された事例はあるか伺う。
  - (3) 10月から自治体による65歳以上の高齢者を対象としたコロナワクチン定期接種が始まるが、県としてワクチン接種率(接種目標)をどのように見込んでいるのか伺う。
- 2 女性や子どもをはじめとする社会的に弱い立場にある人に対するDV被害・性被害の報告が多くなっている。沖縄においては米軍基地があるために起こる事件も合わさって、県民が安心・安全に生活する権利が奪われている状況がある。そこで、DV被害・性被害者への対策について県の見解を伺う。
  - (1) ワンストップ支援センターについて
    - ア 利用状況について伺う。
    - イ 相談員・支援員の配置状況について伺う。
  - (2) DV・性被害者への支援状況について
    - ア DV認定の基準があるか伺う。
    - イ シェルターと呼ばれる避難先施設の数やその入居要件、支援員・相談員の配置状況について。
- 3 戦後処理について
  - (1) 戦後80年を迎えるに当たり、解決が急がれる戦後処理の2大案件である不発弾処理と遺骨収集について
    - ア あとどれくらいの不発弾が残っているのか。全ての不発弾を処理するのにあとどれくらいの期間が必要と想定しているのか伺う。
    - イ 不発弾処理をより迅速に全て処理するために国とも連携した対策が必要と考えるが、県の見解を伺う。
    - ウ 同様に、遺骨収集について県の見解を伺う。
  - (2) 戦後79年を経て高齢化が進む無国籍状態の日系二世の方々への国籍回復支援について、県の見解を伺う
    - ア 太平洋戦争時にフィリピンで生まれた残留邦人の人数。そのうち日本国籍回復を申請した人、日本国籍を回復した人、申請が却下された人の数について伺う。また、同様に沖縄県系人についても伺う。
    - イ これら調査の実施機関について伺う。
    - ウ 国籍回復が決まった2人について県としての関わりはどのようなものがあつたか伺う。
- 4 平成18年に制定された「しまくとぅばの日」は、沖縄の言語を次世代へ継承、普及させるために制定された重要な取組と言える。そこで、沖縄県における沖縄の言語普及への取組について伺う。

- (1) 普及状況について
  - ア しまくとぅば普及センターの取組と成果について
  - イ 学校現場での取組について
- (2) 「しまくとぅば」と「ウチナーグチ」の解釈について県としての見解を伺う
- 5 教職員の働き方改革が求められる中で、昨今特に問題になっているメンタルヘルス対策について伺う
  - (1) 病気休暇取得教員が復職後に再発し再休職したケースが何件あるのか。あわせてこれまでの推移について伺う。
  - (2) 県としての対応策について伺う。
  - (3) 病気休暇明けの一定期間において、復職教員と補充教員を重複在籍させ、復職教員の回復の度合いを見て一人体制にすることはできないか伺う。
- 6 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

10月09日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	山里 将雄(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 教職員の働き方改革について</p> <p>(1) 教員不足、欠員の解消について</p> <p>ア 6月時点での教員の未配置数は計35人ということだったが、現在はどうか伺う。</p> <p>イ 市町村小中学校、県立学校それぞれの正規率を伺う。また全国平均との比較はどうか伺う。</p> <p>ウ 2024年度教員採用試験の状況について伺う。</p> <p>エ 再任用職員の配置状況を伺う。</p> <p>オ 臨時的任用職員の雇用状況を伺う。</p> <p>カ 非常勤職員の雇用状況を伺う。</p> <p>(2) 教職員評価制度について</p> <p>ア 教職員評価システムの目的を伺う。</p> <p>イ 人事評価システムの運用状況を伺う。</p> <p>ウ 教職員評価システムに関するアンケート結果について伺う。</p> <p>2 不法投棄の実態と対策について</p> <p>(1) 県内で確認される不法投棄の件数、重量、種類等について伺う。</p> <p>(2) 不法投棄防止対策を伺う。</p> <p>3 奄美土砂搬出調査報道について</p> <p>辺野古新基地建設の埋立土砂の確保に向け、沖縄防衛局が鹿児島県奄美大島で現地調査を始めた。県外からの土砂調達は特定外来生物が侵入するおそれがあり、公有水面埋立事業における埋立用材に係る外来生物の侵入防止に関する条例に抵触する可能性がある。対応を伺う。</p> <p>4 安和栈橋死傷事故の捜査状況について</p> <p>前議会において県警本部長は「事故原因等、詳細については捜査中」と答弁したが、今の捜査状況を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			